



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 2884 URL <https://www.y-food-h.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 安東 俊 TEL 03(6206)1271  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	43,351	25.1	2,999	120.6	3,060	60.7	1,246	111.1
2024年2月期第3四半期	34,645	35.7	1,359	129.0	1,904	51.8	590	△7.5

（注）包括利益 2025年2月期第3四半期 2,055百万円（90.0％） 2024年2月期第3四半期 1,081百万円（△36.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	52.40	52.35
2024年2月期第3四半期	24.92	24.76

（注）2025年2月期第1四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	56,764	15,323	18.0
2024年2月期	53,537	13,203	16.2

（参考）自己資本 2025年2月期第3四半期 10,227百万円 2024年2月期 8,698百万円

（注）2025年2月期第1四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,215	16.9	3,100	31.6	3,543	19.0	1,620	58.0	68.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	24,045,155株	2024年2月期	23,876,621株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	208,885株	2024年2月期	208,823株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	23,783,716株	2024年2月期3Q	23,694,263株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調が続くインバウンド需要や、雇用や所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、原材料や資材価格の高止まりや物流コスト高騰による物価上昇に加え、不安定な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の食品業界におきましては、コスト上昇に対応した価格改定や商品規格の見直しが継続する中、消費者の節約志向は一層高まっており、引き続き、厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況下において当社グループは、「中小企業支援プラットフォーム」による傘下企業の業績向上支援、および国分グループ本社株式会社をはじめとした提携先との協業を推進するとともに、M&A案件の検討および実行を強化することで、企業価値の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、既存企業のオーガニックな成長に加え、株式会社ワイエスフーズおよびその子会社（以下、「ワイエスフーズグループ」という。）をグループ化したことで大幅な増収増益となりました。その結果、売上高は43,351,702千円（前年同期比25.1%増）、営業利益は2,999,203千円（同120.6%増）、経常利益は3,060,250千円（同60.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,246,313千円（同111.1%増）となりました。なお、外国為替相場の変動により為替差損52,088千円（前年同期は為替差益303,512千円）を計上しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 製造事業

製造事業は、国内およびシンガポール、マレーシアで食品および厨房機器等の製造をおこなう企業28社により構成されております。

国内においては、引き続き2023年10月に連結子会社化したワイエスフーズグループが業績へ大きく寄与するとともに、株式会社マルキチは、ホタテ貝柱の販売単価が回復したことで増益となりました。

海外においては、シンガポールおよびマレーシアにおける観光需要の回復により、ホテル向けに水産品を販売するPACIFIC SORBY PTE. LTD. およびホテル・飲食店向けに厨房機器を販売するNKR CONTINENTAL PTE. LTD. の売上が好調に推移いたしました。その結果、外部顧客への売上高は35,473,045千円（前年同期比29.5%増）、セグメント利益は3,073,704千円（前年同期比89.3%増）となりました。

#### ② 販売事業

販売事業は、国内およびシンガポールで食品卸、企画をおこなう企業4社により構成されております。

国内においては、既存取引先の深耕および新規取引先の開拓を推進したものの、原材料高や厳しい価格競争により若干の減収減益となりました。

海外においては、SIN HIN FROZEN FOOD PRIVATE LIMITEDが株式会社マルキチおよび株式会社ワイエスフーズから購入したホタテをシンガポールおよびアジアで販売したこと等により売上が増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は7,602,715千円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は529,674千円（前年同期比21.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は56,764,484千円となり、前連結会計年度末に比べて3,227,149千円増加しました。これは主に、棚卸資産の増加1,339,215千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加1,242,653千円、現金及び預金の増加936,620千円、有形固定資産の増加249,595千円およびのれんの減少648,643千円があったことによるものです。

負債は41,441,248千円となり、前連結会計年度末に比べて1,107,266千円増加しました。これは主に、借入金等の減少1,250,377千円、支払手形及び買掛金の増加1,219,947千円および流動負債のその他の増加1,215,660千円があったことによるものです。

また、純資産は15,323,235千円となり、前連結会計年度末に比べて2,119,882千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加1,246,313千円、為替換算調整勘定の増加219,174千円および非支配株主持分の増加591,412千円があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、第3四半期の実績等を踏まえ修正をしております。詳細につきましては本日（2025年1月14日）に公表いたしました「通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,225,539	11,162,160
受取手形、売掛金及び契約資産	7,131,415	8,374,069
商品及び製品	8,212,361	9,123,695
原材料及び貯蔵品	1,980,890	2,408,771
その他	948,014	1,129,622
貸倒引当金	△160,588	△121,097
流動資産合計	28,337,632	32,077,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,588,944	6,286,718
機械装置及び運搬具（純額）	1,278,242	1,588,243
その他（純額）	2,975,694	3,217,514
有形固定資産合計	10,842,881	11,092,476
無形固定資産		
のれん	8,047,696	7,399,052
顧客関連資産	3,912,604	3,636,373
その他	59,323	74,689
無形固定資産合計	12,019,624	11,110,114
投資その他の資産		
その他	2,364,073	2,532,729
貸倒引当金	△26,877	△48,059
投資その他の資産合計	2,337,196	2,484,670
固定資産合計	25,199,702	24,687,262
資産合計	53,537,334	56,764,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,921,858	4,141,806
短期借入金	8,795,852	7,768,556
1年内償還予定の社債	340,000	—
1年内返済予定の長期借入金	9,350,638	9,932,583
未払法人税等	904,347	706,787
未払消費税等	554,002	124,771
賞与引当金	338,127	489,925
その他	1,821,680	3,037,341
流動負債合計	25,026,508	26,201,772
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	12,926,128	12,461,102
退職給付に係る負債	92,640	97,692
その他	2,088,704	2,480,680
固定負債合計	15,307,473	15,239,475
負債合計	40,333,981	41,441,248
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,125,276	1,157,973
資本剰余金	1,985,359	2,018,057
利益剰余金	4,754,412	6,000,725
自己株式	△167,611	△167,712
株主資本合計	7,697,436	9,009,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,754	19,860
為替換算調整勘定	979,402	1,198,577
その他の包括利益累計額合計	1,001,156	1,218,437
新株予約権	418	—
非支配株主持分	4,504,341	5,095,754
純資産合計	13,203,352	15,323,235
負債純資産合計	53,537,334	56,764,484

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	34,645,483	43,351,702
売上原価	27,649,971	33,560,288
売上総利益	6,995,511	9,791,413
販売費及び一般管理費	5,635,941	6,792,210
営業利益	1,359,570	2,999,203
営業外収益		
受取賃貸料	46,142	77,796
受取補償金	8,763	11,924
補助金収入	92,723	89,058
為替差益	303,512	—
その他	257,348	151,983
営業外収益合計	708,490	330,763
営業外費用		
支払利息	144,102	210,759
支払手数料	15,000	—
為替差損	—	52,088
その他	4,944	6,867
営業外費用合計	164,046	269,716
経常利益	1,904,014	3,060,250
特別利益		
固定資産売却益	4,284	679
受取保険金	211,202	2,904
特別利益合計	215,487	3,584
特別損失		
固定資産除却損	7,567	3,026
減損損失	72,644	—
棚卸資産評価損	1,012,658	—
特別損失合計	1,092,871	3,026
税金等調整前四半期純利益	1,026,630	3,060,808
法人税、住民税及び事業税	795,050	1,096,559
法人税等調整額	△280,189	311,670
法人税等合計	514,861	1,408,229
四半期純利益	511,768	1,652,579
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,632	406,266
親会社株主に帰属する四半期純利益	590,400	1,246,313

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	511,768	1,652,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,081	△2,647
為替換算調整勘定	564,998	404,937
持分法適用会社に対する持分相当額	△112	137
その他の包括利益合計	569,966	402,427
四半期包括利益	1,081,735	2,055,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,001,788	1,463,594
非支配株主に係る四半期包括利益	79,946	591,412

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	699,970千円	1,168,139千円
のれんの償却額	456,673千円	693,809千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製造事業	販売事業	その他事業	計		
売上高						
日本国内	21,111,817	5,450,116	173,525	26,735,459	—	26,735,459
シンガポール	4,785,947	1,494,100	—	6,280,048	—	6,280,048
その他海外	1,493,259	—	—	1,493,259	—	1,493,259
顧客との契約から生じる収益	27,391,024	6,944,217	173,525	34,508,766	—	34,508,766
その他の収益(注) 3	—	—	136,716	136,716	—	136,716
外部顧客への売上高	27,391,024	6,944,217	310,241	34,645,483	—	34,645,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	204,521	549,934	63,112	817,567	△817,567	—
計	27,595,545	7,494,151	373,353	35,463,050	△817,567	34,645,483
セグメント利益又は損失 (△)	1,623,485	434,719	△26,256	2,031,949	△672,378	1,359,570

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等であります。なお、これには、在外連結子会社が適用している国際財務報告基準(IFRS)第16号「リース」に基づく収益が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「製造事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において72,644千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「製造事業」セグメントにおいて、株式会社ワイエスフーズを連結の範囲に含めたことによるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において3,102,020千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製造事業	販売事業	その他事業	計		
売上高						
日本国内	28,874,106	5,717,910	125,005	34,717,021	—	34,717,021
シンガポール	4,860,820	1,884,805	—	6,745,625	—	6,745,625
その他海外	1,738,118	—	—	1,738,118	—	1,738,118
顧客との契約から生じる収益	35,473,045	7,602,715	125,005	43,200,766	—	43,200,766
その他の収益(注) 3	—	—	150,935	150,935	—	150,935
外部顧客への売上高	35,473,045	7,602,715	275,941	43,351,702	—	43,351,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	541,329	584,758	78,512	1,204,600	△1,204,600	—
計	36,014,375	8,187,473	354,453	44,556,303	△1,204,600	43,351,702
セグメント利益又は損失 (△)	3,073,704	529,674	△49,132	3,554,246	△555,043	2,999,203

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等であります。なお、これには、在外連結子会社が適用している国際財務報告基準(IFRS)第16号「リース」に基づく収益が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。